

「日々の理科」(第1760号) 2019,-5,-4
水彩画教室「辻の山桜」
お茶の水女子大学附属小学校教諭
お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター 研究員
田中 千尋 Chihiro Tanaka

浅間高原はやっと桜の時期を迎えました 落葉松や白樺の新緑に混ざって 遠くの森に桜の桃色が映えています 孺恋村のはずれにあるキャベツ畑の中に一本の山桜の樹があります ちょうど農道の辻にあって どこからでも目立ちます 遠く上信国境の稜線に 残雪の破風岳(はふだけ)が見えていました



これが完成した絵です



1、夕暮れせまる淡い色の春の空 ジョン・ブリアン(肌色)を基調に 横のタッチで描きます 雲は控えめに



2、遠くの間嶺 遠くの間は青紫が基本ですが できるだけ彩度を落として描きます



3、山桜は難しいです 何色かの桃色を使用しましたが 今一つあの清楚な感じが表現できません



4、山桜の根元が重要です こんなふうには何も束生している株もあります



5、桜の右側の納屋は 省略してもよかったのですが やはりこの構図では 良いアクセントになっています



6、遠くの間の色 まだ完全に春になっていない 微妙な色合いで 白樺の白もところどころ入れておきます